

100 世界遺産の旅（169）

青春の街角②

またまた、シンガポールを訪れた。バリ島よりの帰路、午後3時に到着し、午前1時が閑空行の出発時刻だったので、空港を出て市街を散策した。

シンガポール初訪問は、30歳頃で、合計30回ぐらいの訪問になるだろう。まずは地下鉄のラッフルズプレイス駅へ行き、マーライオンに挨拶をした後、シンガポール川を渡って、旧市役所へ向かった。



旧市役所、シンガポール、2025年3月

旧市役所（現ビクトリア・シアター&コンサートホール）の前には英國副総督ラッフルズの銅像が迎えてくれた。ラッフルズは、シンガポールの英雄で、マレーシア半島を占拠した後、シンガポールの繁栄に寄与した。また探検家でもあり、インドネシアの世界遺産ボロブドゥール寺院の発見者である。

旧市役所から、国会議事堂、最高裁判所、アンドリュース聖堂を経て、ラッフルズホテルへ向かった。



ラッフルズホテル、シンガポール、2025年3月

ラッフルズホテルは、シンガポールを代表するホテルで、グッドウッド・パークホテルと共に老舗の高級ホテルである。ラッフルズホテルのアフタヌーンティーは、特に有名で、伝統的なテーブルセッティングに3段重ねのケーキスタンドが供される。

その値段たるは、お1人様約1万円であるが、シンガポール訪問時アフタヌーンティーを体験しよう。

ラッフルズホテル前にある近代的なショッピングセンターのラッフルズ・シティーを覗いてみた。



アシックス（Onitsuka Tiger）、ラッフルズ・シティー
地球を歩いていると、ロンドンやコペンハーゲン等で、アシックス（本社神戸）の海外店をよく見かけた。近く、アシックスは、USA市場に再挑戦するらしいので KOBE-made products に声援を送りたい！



ラッキープラザ、オーチャード通り、2025年3月

オーチャード通りに、ショッピングセンターの老舗ラッキープラザがある。テニスラケット、ゴルフクラブセット、スポーツウェア等を買ったものだ。

ショッピングセンターの浮き沈みが激しい今日でも生き残り、また交差点の伊勢丹も頑張っている。

伊勢丹を北東へ折れてスコット通りの端が、有名なニュートンサーカスで、屋台村から衛生的なフードコートに変貌したが、活気のなさは否めない。



ニュートンサーカス、シンガポール、2025年3月

現役時代、最後にシンガポールを訪れたのが54歳で、会議出席者の平均年齢が、およそ40歳だったので、知つて、いよいよ場違いを強く認識した次第である。

60歳リタイヤを決断していたので、55歳から60歳を人生最後の蓄財期とし、仮想年金生活へ突入した。

その5年間は、今様の流行語 Quiet Quitting（静かな退職）に傾注し、すべての海外出張を辞退して社内自由業に徹した。我が青春の街・シンガポール、有難う！